

青年部・女性部

「女性部特製「こけし」で国体選手をおもてなし

秋田県由利本荘市商工会女性部

●事業を実施した動機、きっかけ

由利本荘市商工会女性部は平成十六年に一市七町の商工会が合併して誕生し、現在二二一名の部員数である。平成十九年に「秋田わか杉国体」が開催されることとなり、大内地区が銃剣道競技会場となったため、女性部大内支部では全国からの国体参加者に対し、当地の魅力と女性部活動をPRしようと特色のある記念品を提供することにした。

そこで、従来から取り組んでいる「こけし事業」を生かし、参加者に「また来たいまち」として当地を印象づけるために、県木である秋田杉を材料とした「女性部特製こけし」の開発・製品化の取り組みを始めた。

そもそも当支部の「こけし事業」は、平成二年に当時の大内町商工会で、地域活性化のために「むらおこ

し事業」の一環として特産品開発に取り組み、平成五年に特製こけしの試作品を開発したことが始まりだった。その後、女性部員を対象とした絵付け教室を重ね、真心の手作り「折渡千体地蔵こけし」が誕生した。

平成七年には、第一五回秋田県特産品コンクールで奨励賞を受賞。平成十一年度から、地域住民を対象に、女性部員が講師となって絵付け教室を定期的に開催している。地域の小学校からは「ふるさとドリームアップ事業」として、こけしの絵付け教室の開催を依頼され、現在までに二〇〇名を超える児童に指導している。

●事業の推進状況

事業のPRポイントは、

①秋田ならではの「杉」を材料に使った特製こけしの開発・製品化を目指す



女性部特製こけし 折渡千体地蔵こけし

②秋田わか杉国体を情報発信の一つの機会と捉え、当地域の魅力を全国からの国体参加者に対してPRする

というものだ。「杉」材は常時使用している「なら」「いたや」材と比べると、柔らかいうえに水分が多いため、こけし作りの材料としては熟練した技術を求められるが、当地ならではの「特製こけし」として認知されることを目標とし、あえて女性部が積極的に取り組んだ。

また、杉素材の柔らかさを生かし、女性特有のしなやかな筆使いで作る上げる特製こけしは、従来にはなかった差別化製品として、新たな販路拡大が期待された。



北内越小学校でのこけし絵付け教室



大内地域市民祭でのこけし絵付け教室



女性部交流研修でのこけし絵付け教室

銃剣道競技の出場選手に記念品として贈る「女性部特製こけし」は五〇〇体製作し、通常は仕上げにニスを使うが、秋田杉の質感や香りの良さを生かすため、あえてニスを使用しなかった。絵付け歴一〇年以上の部員たちも「杉」素材を扱うのは初めてで、いつもとまったく異なる質感にかなりとまどったが、週に一度は集まり、時には自宅に持ち帰ったりしながら、一体一体真心を込めて製作に励んだ。

こけしは絵付けする人により「一つひとつ表情が違う」のが特徴。伝統工芸品として継承するために、地元住民や地域外からの希望者を対象とした絵付け教室を積極的に開催し、

地域に根差した女性部活動を展開した。

●事業の具体的な効果または今後の見込み

こけし材としてはリスクの高い「杉材」で特製こけしを開発・製品化するために、女性部員が一丸となって試行錯誤を繰り返すことにより、部員間の連帯感が深まり、さらには女性部組織の強化がなされた。また、秋田杉を使った「女性部特製こけし」への反応は大変好評で、製品化した際の販路開拓や伝統工芸品としての認知に期待が持たれた。

新製品開発への取り組みは、絵付け教室とともに商工会女性部の名を地域に知らしめ、併せて商工会も地域に根差した団体として知名度・イメージがアップするという大きなメリットがあった。

〈部員の声〉

- 地域に根差したこけし絵付け教室で、地元内外の多くの方々に手作りの楽しさを感じてもらい、伝統工芸品として定着させたい。
- 国体を通して、私たちのこけしが全国へ広まったのは大変うれしいことだ。
- 普段は仕事に追われて忙しくして

いるが、こけしの絵付けをしているひとときは心が穏やかになる。

- 地蔵こけしを通してたくさんの人々とのつながりができたことは、私たちの宝である。
- 自分の絵付けしたこけしがお客さんの手に渡っていく時は、わが子を嫁に出すようなうれしさと寂しさを感じる。
- 最初はきちんとできるか心配だったが、全国から来てくれた選手および関係者への歓迎の思いや、喜んでもらいたい一心で頑張った。このような形で国体に関わることができて、本当に光栄である。少しでも地域活性化に役立てば幸いです。
- 真心を込めて作った女性部特製こけしは、全国の選手や関係者から大変喜んでもらった。穏やかな微笑みと杉の香りがベストマッチしていると思う。

●今後の展望

今後も大内支部では「こけし絵付け教室」を活動の中心とし、このたび開発した秋田杉「女性部特製こけし」を差別化商品として商品化し、秋田ならではの工芸品として認知されるよう、販路開拓に努めたい。